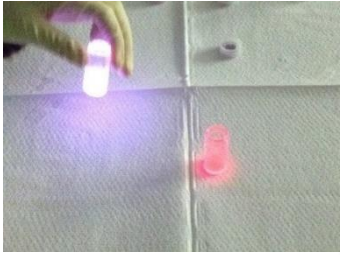


Winter Science Camp in 米沢 2019

サイエンス・アントレプレナー育成塾



貴重な体験 一年 探究科 女子

私は12月22日から24日にかけて、山形大学工学部で行われた、「ウィンターサイエンスキャンプ2019」に参加させていただきました。このプロジェクトでは、城戸淳二教授によって開発された有機ELの仕組みを学んだり、研究施設を見学するだけでなく、実際に当研究室で有機ELの基盤づくりを体験することができます。

実験をする過程で、物質の性質や化学反応について詳しく解説していただき、より理解が深まりました。また、実験やデータ解析を実際に行っているところも見学させていただきました。さらに、米沢以外の地域の高校生とも交流することができ、普段の授業とは違った、貴重な体験となりました。

今回の体験で学んだことを、これからの研究活動に生かしていきたいです。

ウィンターサイエンスキャンプに参加して
二年 理数探究科 男子

12月22日から24日までの二泊三日間、山形大学工学部において有機ELについていろいろと学んできました。初日に城戸淳二教授の講義を聴いたとき、会場である工学部の建物(10号館・11号館)二棟が城戸先生たちの研究に使われていることを知りました。この二棟の中心を大学院生の方に案内してもらったとき、「クリーンルームはいろいろ大変だよ。」と言われていましたが、なかなか楽しかったです。

三日間を通じて、特に印象に残ったことはAlq₃の合成でした。Alq₃とは、ブラックライトを当てると光る物質です。一見したところ、ただの透明な液体を2種類混ぜ合わせると光る有機材料Alq₃をつくることのできるなんて「化学ってすごい!」と感じました。

また、このキャンプで北海道から参加した高校生とも交流を深めることができ、うれしかったです。宿泊先の食事もおいしくて良かったです。交流会でも城戸先生をはじめ、研究室の千葉貴之先生並びに院生、学生の方々が歓迎して下さり、研究室の雰囲気もとても良く、参加者全員が楽しめました。

高校生はウィンターサイエンスキャンプに来年参加してみませんか!

全国の高校生同士が交流しながら最先端の研究「有機の光」を体験できる機会を創出し、科学技術や研究への興味・関心を喚起させ、サイエンスキャリア形成とアントレプレナーシップの醸成を図る、という趣旨でSSH交流支援事業として本校が主催しました。

本年度は、12月22日から二泊三日の日程で、宿泊場所を市内の招湯苑にして開催されました。

募集定員12名に対し全国から応募がありました。本校からの選抜参加者は3名、その他にCSS部から2名の生徒が補助として参加しました。

参加者にとっては、大学教授や大学院生、参加生徒同士の交流が盛んに行われ、中身の濃い大変有意義なキャンプになりました。



ウィンターサイエンスキャンプ 二年 理数探究科 男子

化学と有機ELに興味をもっていた私は、ウィンターサイエンスキャンプに参加することを決めた。この取り組みは二泊三日の研究プログラムである。山形大学工学部の城戸研究室で学べる上に、全国から集まる高校生とも交流できる。

初日は緊張していたが、次第に仲間11名と打ち解け合い、化学の話で盛り上がった。二日目はAlq₃という有機蛍光材料の合成に取り組んだ。光らな物質同士から合成を行うと大変興味を沸かした。三日目はデバイスの作製と評価を行った。デバイス1枚の作製には時間がかかることを学んだ。そのため、最新の技術は開発されてもすぐには普及できない理由も学んだ。

三日間のキャンプでの取り組みを通して、化学のおもしろさと世の中に非常に役立つ物質の存在を体感した。また、城戸先生からいただいたアドバイスももらった。今後の励みにもなった。



日本のエンジンに学ぶ最先端科学 一年 探究科 女子

・普段は見ることのできない研究設備を見学したり、実験を体験でき、とても貴重な機会でした。自分の進路を決める上で、今回のイベントに参加できたことはとても大きな意味をもっていると思います。今回の経験を大切にして、学びたい学問や大学選びに役立てたいと思います。

・今回は、有機ELについて学んで、いままでも知っていたことが分かってきました。山形大学の方々が丁寧に教えて下さって、特に、有機EL素子の作製しているときに分かりやすい説明で一つ一つ教えていただいたので、よく理解できました。空き時間も、進路のことや大学生活など高校生には分からないことを話して下さったので、これからの進路実現にも役立ちました。有機ELにさらに注目していきたいです。

・最初は結構緊張していましたが、山形大学の学生さんたち、そして、城戸教授のもとでやさしく丁寧にお話をいただき、わかりやすかったです。自分の将来のための視野も、勉強としての視野も広がって、いろいろな人たちと出会って交流できて、いつのまにか緊張が消えていきました。個々のことに熱中することも、個々のもつものを活かすことも大事な心構えであるということを通して、より良い社会の形成に携わりたい、関わりたいと思いました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。

・有機ELをつくってみて、研究室のいろいろな機械を使うことができ、大学の研究のレベルの高さを感じました。大学として将来、自分のしたい研究ができると思うととても楽しみにしていました。城戸教授、先生方、研究室のみなさんありがとうございました。今回の研究体験を生かせるようにがんばりたいと思います。

・普段学校の授業で実験等をやらない私たち高校生には、将来の自分を体感できる、とても良い機会でした。また、ただ単に生活しているだけでは気づかない、化学の最新技術を知ることができて、未来を身近に感じることができました。とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

参加者の声

